

【8月下旬刊・小説・第16回文藝賞受賞作品】

# 南風

待望の新装復刊！

宮内勝典 みやうち・かつすけ

2019年8月下旬刊 発行所 石風社  
定価：本体1500円＋税 四六判上製191頁  
ISBN978-4-88344-288-1 C0093

辺境の噴火湾が  
小宇宙となって  
ひとの世の  
死と生を  
映しだす

夕暮れ時になると、その男は裸形になって、  
港の町を時計回りに、駆け抜けた――

第16回文藝賞受賞作品、  
著者幻の処女作が四十年ぶりに甦る



「きみは今日、孤独について話したな。だがこれから、きみはもっと孤独になっていくんだぞ」

いいか覚悟しておけよ、と静かに言われました。

(文藝賞授賞式の後「文藝」の編集長から)

予言は、みごとに的中しました。この四十年、わたしは日本文学のどこにも居場所がなく、ひっそり孤立していたようです。いまでも孤独が深まっていくばかりです。

(四十年ぶりの「あとがき」より)

宮内 勝典 (みやうち かつすけ)

1944年ハルピン生まれ。鹿児島県立甲南高校卒業後、アメリカへ渡る。ニューヨークで通算 13年暮らし、世界60数カ国を歩いた。

早稲田大学客員教授、大阪芸術大学教授などを歴任。

著書『南風』(文藝賞)、『金色の象』(野間文芸新人賞)、『焼身』(読売文学賞 芸術選奨文部科学大臣賞)、『魔王の愛』(伊藤整文学賞)。ほかに『グリニッジの光りを離れて』、『ぼくは始祖鳥になりたい』、『金色の虎』、『永遠の道は曲りくねる』など多数。

\* \* \*

ご注文書 【貴店番線印】	注文	日付	ご担当	ISBN978-4-88344-288-1 C0093
	冊	/	様	南風 (なんぷう) 宮内勝典 定価：本体1500円＋税
	好評既刊	細部にやどる夢 私と西洋文学 渡辺京二		( ) 冊
取扱	地方小出版流通センター／日販 鎌谷書店／きんぶん図書		石風社 福岡市中央区渡辺通2-3-24ダイレイ第5ビル5階 092(714)4838	

【ご注文は石風社 FAX:092 (725) 3440まで】